

座談会 市長 市内4大学代表者と語る

市内4大学の活力を生かした

ひとづくり・まちづくり

市長 本日は大変お忙しい中、この座談会のために市内4大学の代表のかたに足をお運びいただき本当にありがとうございます。東京家政大学の清水 司学長におかれましては昨年11月に文化功労者表彰に浴され、心から先生の長年のご功績に改めてお祝い申し上げます。また、本日は文情情報短期大学の佐藤英樹理事長、埼玉女子短期大学の川口晃玉理事長、武蔵野短期大学の宮本一史教授にもおいでいただき、ありがとうございます。皆さまには日ごろからご協力いただき、おかげで狭山市の教育行政も今まで順調に進めることができました。多くの公開講座や図書館の開放など市民の利便性や教育の充実にご協力をいただき、この場



市長 ありがとうございます。今日は、いじめに対する考え方や女性の社会進出、地域における大学の役割などについて、お話を伺いたいと思います。

1・人が集まるまちづくりについて

佐藤 狭山市ではつい先頃、大変素晴らしい「サピオ稲荷山」という施



清水 司氏 (東京家政大学・東京家政大学短期大学部学長) 昭和23年早稲田大学理工学部卒業。同大学教授、総長。その後日本私学振興財団理事長などを歴任。平成5年から現職。この間文部省中央教育審議会会長、東京都教育委員会委員長などを歴任。平成8年国語審議会会長。平成9年文化功労者表彰。

設ができましたが、大変明るいニュースで喜ばしいことです。市内に中心となるような駅が欲しいと思っています。市長さんには特に再開発の面を早く進めていただけたらいいですね。学生が狭山市に夢を持って寄宿し、よい思い出を持って狭山市から全国に帰っていったらいいですね。もともと狭山を愛する学生が増えるようになってほしいと思います。

市長 再開発事業では市民の皆さんに多大なるご協力をいただきながら最重要課題として進めているところ



ろです。特に狭山市駅西口については、「狭山市の顔」となるような場としてこれから先数年のうちに随分変わっていくと思います。今、新しい入間川小学校の建設を進めています。太陽と水と風をフルに利用した施設として、全国的なモデル校となると思っています。

清水 そうですか、それは素晴らしいですね。私はいつもまちづくりには広場が必要だと思っているんです。人が集まれる、昔で言うところの「井戸端の広場」ですね。

市長 そうですね、狭山市駅前

佐藤英樹氏 (文情情報短期大学学長・理事長)

昭和35年東京農業大学卒業。昭和50年学校法人文情情報短期大学理事長就任。昭和58年(財)日本カナダ教育文化交流財団理事。平成5年から現職。平成11年開校をめぐり、西武文理大学を建設中。



川口 それは素晴らしいですね。私たちの学生がコンパとか、友達と学校帰りにお茶でも飲んでおしゃべりをするのに、駅前にもっとお店があるといいと思いますね。

市長 そういったお店の他に、入間川小学校の跡地に市の中心となるような文化施設も併せて作りたいと思っています。

若者が集まり、楽しく過ごせるような場所としての構想を進めています。また、狭山市には大きな財産として入間川がありますので、ここを市の中心として市民が集まれるようにしたいと思っています。また川越市までの川沿いにずっと桜を植えて、その外に24時間いつでも楽しめるような買い物、スポーツ、レジャーなどの施設をつくりたいとも思っています。

川口 それは素晴らしいですね。私たちの学生がコンパとか、友達と学校帰りにお茶でも飲んでおしゃべりをするのに、駅前にもっとお店があるといいと思いますね。

市長 そういったお店の他に、入間川小学校の跡地に市の中心となるような文化施設も併せて作りたいと思っています。

川口 話は先程のサピオに戻りますが、家族での利用が大変多いというところで、ぜひ親子で参加できるような「集い」を市で企画し、ムードづくりをしていただきたいと思います。今は両親ともに忙しいですから、少しでも多く、特に父親と遊んだ記憶というのを身につけてあげたいんです。

市長 私も時間があるときよくサピオに行くのですが、親が子どもに手取り足取り教えてあげている微笑ましい光景がよく見られます。この施設はぜひ大学生にも利用していただいて、市民との交流を深めてほしいものです。

佐藤 話は変わりますが、狭山市には入間川七夕まつりという大きなお祭りがあります。この祭りにクラブで野点をするなど、4大学で協力して参加できたらいいと思いませんか。

清水 そうですね。さやま大茶会ときにはクラブ単位で参加していますが、4大学で協力してできるといいですね。

宮本 私は通勤で新富士見橋を毎日渡っていますが、あそこから見える山々というのは冬は本当に美しいですね。そのときいつも思うのですが、山の名前が分かったらいいなということなんです。先程市長さんのおっしゃっていた計画の中で「散歩コース」のようなものもつくり、そこに案内板などを置いてもらえたら楽しいと思います。それから、子ども



川口晃玉氏 (埼玉女子短期大学理事長) 昭和33年早稲田大学卒業。昭和61年医療秘書教育全国協議会理事長就任。昭和63年学校法人川口学園の組織変更を行い埼玉女子短期大学に設置、引き続き理事長に就任。昭和60年文部大臣より教育功労表彰。平成6年藍綬褒章受章。

もたちのために遊ぶ場所がほしいですね。身近に活用できる公園が少ない。小さなスペースでもいいから集まれるところがあるといいですね。遊びの「3ない」と言われていますが、これは友達と時間と場所がない、ということなんです。

2・いじめ問題について

市長 さて、臨床心理学の専門の先生がいらっしゃるので、ぜひ非行について、受験の重圧やテレビなどが子どもの心理面にどのような影響を及ぼすのか、お聞きしたいと思っています。

宮本 いじめ問題についてはいろいろな要因があると思いますが、子どもたちにも満たされない気持ちというのがあると思います。だから



宮本一史氏 (武蔵野短期大学幼児教育学科教授)

昭和34年東京学芸大学卒業。平成3年～7年、東京都港区立青南小学校校長。平成7年から現職。

ら生活の中でその満たされない思いやエネルギーを発散できる場がほしいと思うんです。昔、遊びの中でケンカのルールなどを覚えていったようにね。また、人間関係も同じですね。そういう場の中で人との付き合い方を学んでいくことが必要ですね。基本的に今の子どもたちは、小さいうちの遊びが足りないと思うんです。ある事態に陥ったとき、多様な行動様式をとれるという知的な精神力は、学校では教えられないんです。地域のリーダーがいて、一年生から高学年の子まで一緒に遊んでいた昔と違って、今の子どもたちは人間関係をうまく保てないですね。

清水 結局、核家族化や少子化が原因ですね。「公園デビュー」という言葉がありますが、同じくらいの年齢のお母さん同士が仲間をみつけて